授業科目名・形態	日常生活支援技術演習Ⅷ（睡眠）演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	石岡和志　今野　修	実務経験の有無	有	開講期	３年前期
科目ナンバリング	W4-3026c				

【授業の主題】

尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう根拠に基づいた介護実践を行なうための知識・技術を習得する学習とする。生活支援技術論で学習した人体の構造と機能の知識を基に自立に向けた睡眠の介護についての知識と技術を習得する。

【到達目標】

１．健康を保持するための休息や睡眠の重要性を理解し、安眠を促す環境を整える支援を理解する。
２．利用者の状態・状況に応じた睡眠介助の留意点を理解し、実践を想定した技術を習得する。
３．睡眠に関する研究を行い、発表する。

【授業計画・内容】

第 1 回　睡眠の意義と目的、安全・安楽について考える
第 2 回　睡眠における ICF の視点とアセスメント
第 3 回　安眠のための介護の理解と実践
第 4 回　睡眠における介護技術　①基本的理解
第 5 回　睡眠における介護技術　②自立度が高い場合、部分的援助を要する場合）
第 6 回　睡眠における介護技術　③全面的援助を要する場合
第 7 回　感覚機能が低下している人における睡眠の介護技術
第 8 回　運動機能が低下している人における睡眠の介護技術
第 9 回　認知・知覚機能が低下している人における睡眠の介護技術
第 10 回　不眠時の対応
第 11 回　睡眠に関する研究～資料作成①
第 12 回　睡眠に関する研究～資料作成②
第 13 回　睡眠に関する研究発表①
第 14 回　睡眠に関する研究発表②
第 15 回　関連職種の役割と連携、福祉機器

【授業実施方法】

グループワーク演習を基本としながら、講義も交える。

【事前・事後学習】

毎回、テキストによる 30 分の予習及び講義内容を踏まえた 30 分の復習を行うこと。

【主な関連する科目】

介護の基本、介護総合演習、生活支援技術論

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座 7　生活支援技術Ⅱ　第 2 版　中央法規出版

【参考文献】

必要に応じて、授業の中で適宜提示する。

【成績評価方法】

授業態度等 10%、レポート等 30%、筆記試験 60%による総合評価とし、60%以上の得点で合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉施設での介護職員としての経験を活かし、快適な睡眠が提供できるような実践的授業にしたい。

【学生へのメッセージ】

対象者の個別性や安眠について理解し、積極的に基本技術を習得してほしい。